

大型海藻の深層水養殖産業基盤開発研究

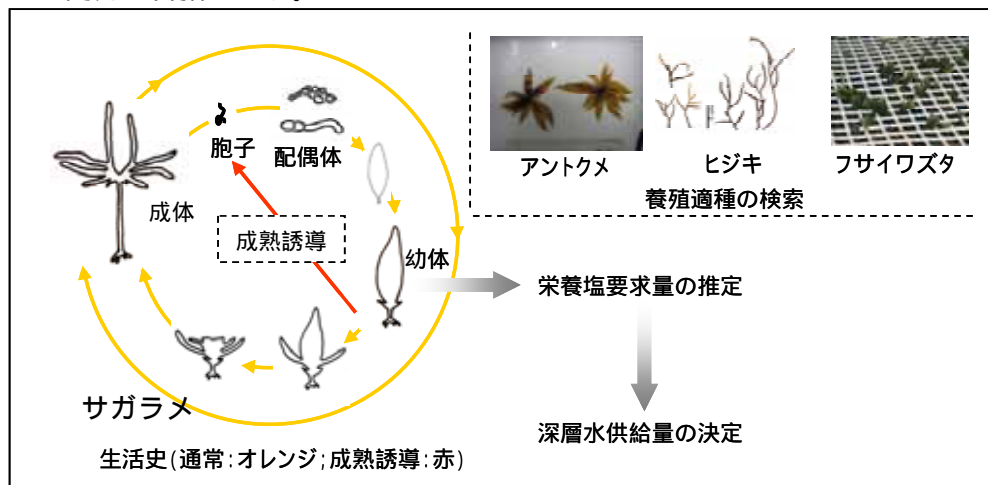
(深層水養殖産業基盤開発研究)

(予算区分 県単独 研究期間 平成19~21年度)

担当：利用普及部深層水研究室

【研究の背景とねらい】

- ・本研究は、駿河湾深層水を利用した産業の創造・確立と静岡県の地域の活性化を目指しています。
- ・サガラメ等の海藻は、有用な生理活性物質を含み健康食品として注目されている食材です。
- ・また、養殖起業有望種であり、今までの研究成果により深層水を利用した培養基礎技術確立し、特許を出願しました。
- ・そこで、新規養殖産業の起業基盤の確立のために、深層水を利用したサガラメ等の海藻の量産システムの開発を目指します。



【これまでに得られた成果】

- ・陸上養殖したサガラメは生理活性物質であるフコキサンチンやフコイダンを含んでいました。
- ・幼体での成熟誘導技術の開発により、陸上養殖した藻体からの速やかかつ安定した種苗生産が可能となりました。また、特定の形質を持った藻体からの採苗が可能となり、育種の際の基礎技術となりました。
- ・サガラメの栄養塩吸収速度に及ぼす光量・水温・栄養塩濃度の影響を調べることにより、培養環境に応じた栄養塩要求量の推定が可能となり、培養海水である深層水の供給量を決定できます。
- ・サガラメ以外の養殖適種を検索するため、食用であるアントクメ、ヒジキ、フサイワツタなどを深層水中で培養した結果、いずれも良好な生長を示しました(東海大学海洋学部との共同研究)。

【期待される成果】

- ・大型海藻の養殖産業の起業基盤が確立します。
- ・駿河湾深層水ブランドによる静岡 only one の新規養殖産業が創造されます。
- ・天然海域への放流種苗の生産が可能になります。

【今後の計画】

- ・深層水を利用した駿河湾サガラメ等大型海藻の量産システムを開発研究します。(平成19~21年度)

(作成 平成20年4月)